

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信



第22号

2022年5月16日

「足環（あしわ）をつけよう」

先日、栃木県小山市にある渡良瀬遊水地に行ってきました。ここにはコウノトリの人工巣塔が立っていて、野生のコウノトリが巣を作り子育てをしています。観察をするために行ったのではなく、産まれたコウノトリのヒナに足環を装着するために行きました。放鳥した個体や、野外で巣だった個体には、個体識別のため足環を装着しています。これにより、行動範囲やペア形成の情報がわかり、研究や進捗状況の把握に役立ちます。

足環の装着作業はIPPM-OWS※の加盟団体で行われ、鴻巣市ももちろん加盟しています。大まかな作業内容は、①ヒナを捕獲、②足環装着作業、③巣塔へ戻すの3ステップです。簡単そうに聞こえますが、人工巣塔は高さ12mほどあり、4階建てマンションと同じくらいです。高さ12mの場所にいるヒナを安全に捕獲しなければならないため、意外と大がかりです。そして、なるべくコウノトリにストレスを与えないよう短時間でおこなう必要があります。事前の打ち合わせを入念におこない、予定通りに作業が終了しました。このヒナたちの巣立ちが楽しみです。



人工巣塔で作業開始



足環装着作業



HPはこちら→<https://ippm-ows.jp/>

※IPPM-OWS コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル とは

コウノトリの保全を全国的に進めていくにあたっての課題を加盟団体で共有し、連携して課題の解決にあたることを目的に活動しています。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：佐藤